

## ジョニーとパーシー

### 「私メッセージ」

作成者：田中圭子（日本メディエーションセンター）

**\*手順書・振り返りシートを使用する際は、こちらの出典を明記した上でご使用下さい。**

#### ○ねらい

1. 対立が起こるプロセスについて考える
2. 違う視点や見方がある事に気づく
3. 対立が起こったときの自分のこれからの行動の仕方について考える

#### ○グループワークのスタイル

- 6名から8名一組、何組でも可能
- どのような場所でも、実施可能

#### ○所要時間：約80分

#### ○すすめかた（手順）

1. グループごとに机とイスつけて、グループのみんなが囲むようにワークができるように場所を整える
2. まず今回のグループワークを行う上で、みんなで守るルールについて考える  
例：恥ずかしいと思うけど、積極的に参加する  
パスは1回あり  
人の意見は批判しないで、一度「そうだね」と考えてみる など
3. グループワークのねらいを 全員で確認する
4. グループごとの自己紹介とウォームアップ  
\*学校以外で行うワークの場合：
  - ① 自分の名前（本名でなく 匿名でも可能であることは事前にファシリテーターから伝えておく必要があります）
  - ② 参加の動機、ワークショップへの期待 など

#### \* 学校で行う場合

- ① あえて普段と違う自分も出せるように、普段呼ばれているニックネームや名前以

外の呼び名を付けるのも有効です。

- ② ①の場合、名札などを各自でつくるワークを入れていつもの自分とは違う自分となるよう意識するようにすすめる場合もあります。

5. まとめの前（キャシーが私メッセージの説明をするところ前）までDVDを見る

6. 各自で振り返りシートに記入する

7. グループで振り返り用紙の順に話し合う

\* 例えば次の様な順位全員発言するようにします。

振り返り用紙の1番をAさん、Bさん、Cさん・・・・

次に2番を Aさん、Bさん、Cさん・・・といった方法です

8. 質問などがあれば手をあげてもらい、ファシリテーターが対応します。

（ファシリテーターは参加者の自主性を重んじつつ、参加しづらい子どもをみつけたら、何気なく声をかけ、参加を促しましょう）

9. グループごとでの発表がおわったら、全体でそれぞれのグループでどのような意見が出たのかを分かち合います。

（出された意見を ホワイトボードに書き込んでいきます）

10. DVDの続き（キャシーのまとめ）を全員で見る

11. 今回のワークのねらいをもう一度 全員で確認します。

○ 時間配分例（授業の形態によりアレンジしましょう）

|          |                       | 必要な時間 | 合計時間   |
|----------|-----------------------|-------|--------|
| I 導入     | 1. グループづくり            | 5分    | 0 : 05 |
|          | 2. みんなのルールづくり         | 10分   | 0 : 10 |
|          | 3. ねらいの確認             | 5分    | 0 : 15 |
| II 実習の実施 | 1. DVDを見る             | 15分   | 0 : 30 |
|          | 2. 個人の振り返りシート記入       | 10分   | 0 : 45 |
|          | 3. グループで分かちあい         | 20分   | 1 : 05 |
|          | 4. 全体での分かちあい          | 15分   | 1 : 20 |
|          | DVDのまとめを見る<br>ねらいの再確認 |       |        |

○必要なもの

DVD、振り返りシート、模造紙、マーカー

名札、付箋

振り返りシート（ねらいや時間に応じて必要な個所を抜き出して使用して下さい）

### ジョニーとパーシー 「私メッセージ」

1 アニメを見て印象に残った「セリフ」や「態度」を書き出してみましょう

・ ジョニー

・ パーシー

・ キャシー

2 このアニメを見てどのように思いましたか、  
（何を学びましたか）

3 アニメの最初と最後でジョニーとパーシーの言葉や態度が変わってきたことはありましたか。  
もしあったとしたら、何がきっかけでどのように変化したのでしょうか。

4 あなたのまわりにこのアニメと同じような状況がありますか。どのようなことか具体的に書いて  
みましょう

5 今日学んだことをこれからどのように活用していきたいですか。